

# あのみ

志布志市立尾野見小学校

## 社会の動きに関心をもち 考えて行動する子どもに

校長 川崎 咲子

今、世の中は、コロナウイルスのことで持ちきりです。今日現在（二月六日）日本国内の感染者は、三十人を超えています。過剰に心配する必要はありませんが、インフルエンザ等と同様に、マスク着用や手洗いを徹底して予防に努めることが大切です。

さて、来年度から新学習指導要領の改訂に伴い、教科が増え、教科書や学習内容も変わります。なぜ変えなければならぬのでしょうか。それは、急激に変化する社会の動きにに応じて、子どもたちに身に付けさせなければならぬ事柄も変わっていくからです。

私たちの年代が子どもの頃（約五十年前）に描いた未来の社会が、今次々と現実となつています。どこにいても遠くの人と話ができたり（携帯電話）、車が自動で走ったり（自動運転）、ロボットが掃除をしてくれたり（掃除ロボット）など、社会が飛躍的な進化を遂げることで、このよう進むことになっていくでしょう。

だからこそ、子どもたちには、ニュースを見て欲しい、新聞を読んで欲しい、社会の動きに関心をもち、新しいことと向き合えるように、社会の中で活躍するように変化しているのか、予想もつきません。

教えることは学ぶことと言いますが、私たちが社会の変化に対応できるように、学び続けることに関心をもち、考えて行動できる子どもに育てていきたいと思います。

## 新一年生体験入学及び入学説明会

【校訓】  
明るく・強く正しく・すこやかに  
二月の生活目標  
・学習用具など、物を大切にしよう。  
二月の保健目標  
・寒さに負けない体をつくろう。



一月二十三日は、新一年生体験入学を行いました。十二名の園児が、小学校は、どんなところだろうと興味・関心をもって体験をしました。園児の学校案内をするのは、一年生。どんな教室があって、どんなことをするのか、絵を見せながら先輩として教えていました。そのあと、教室でボーリングや福笑いと一緒に楽しみました。

一方で、入学説明会も実施しました。保護者の方々に、入学までに準備しておくことや、小学校生活が始まってから必要なこと、小学校は、どのようなところかをお話ししました。四月に元気に入学しみにしていきます。

## 鹿児島県学習定着度調査から

一月に、五年生を対象に、鹿児島県学習定着度調査が行われました。五年生までに学習してきたことの基礎・基本の定着をみるテストです。結果は、算数、社会、理科では、県平均より九ポイント高い結果になっていました。国語は、県の平均なみでした。

	理科	算数	社会	国語	小5
本校平均	88.3	89.0	83.6	73.2	
県平均	81.4	77.1	72.4	73.7	

内容を見てみると、文章で説明する記述問題が、以前よりかなりできるようになっていました。課題となるのは、問題の中の意見と事実を区別したり、グラフから情報を正しく収集したりする力です。情報を限られた時間の中で、正しく収集するには、文章を速く正しく読み取らなければなりません。そのため、普段から文章を読むことが大切です。五年生、六年生は、二学期の週末に、長文の問題を復習してきました。初めは、解答できなかつたり、条件に合わないことを書いたり、正しく解けないことを書いたり、正しく読み取らなかったり、繰り返すことと読み取るポイントをおさえていく中で、十一月には、「前より読めるようになってきた。」「難しくならなかった。」「最初の声を聞くようになりました。最初は困難でよく変わるので子どもたちが証明してくれました。」

読む力をつけるために、本校では、家読二十分間に取り組んでいます。最初は、時間をとって読むことが大変かもしれませんが、移動時間、待ち時間に、ちよつと読書をすれば、結構時間はとれるものです。ぜひ、お子さんと実践してみてください。